

鉄道ピクトリアル

2020年11月号 Vol.70 No.11 通巻No.979

(特集)東武鉄道野田線(東武アーバンパークライン)

■表紙 全線運行開始当日の下り初発急行列車……野口剛利

馬込沢一塚田 2020-3-14

■グラフ

変わりゆく野田線(1~5ページ)

早川昭文・齋藤敏夫・野口剛利・関根敏男・関 周一
戸塚光弘・中山知之・高橋信行・白井明王

思い出の東武野田線(6~8ページ)

佐藤 博・後藤 弘・林 智春・長島和夫
有原和彦・齋藤光男

*

東武野田線 旧景 ……写真:高松吉太郎・丸森茂男ほか… 21

東武野田線全35駅各駅停車 ……写真:高橋信行・進藤 匡ほか… 30

野田線8000系 現有編成コレクション+α ……構成:編集部… 40

東武アーバンパークラインの60000系と10000系列

……写真:佐藤利生・山口大助ほか… 44

琴電における旧総武鉄道車の足跡 ……真鍋 裕司… 46

*

Pictorial Color Gallery 黄金鉄道風景 ……大兼政成広… 85

JR北海道キハ261系5000番代「はまなす」編成/JR東日本
秋田地区向けGV-E400系/東京地下鉄有楽町線・副都心
線用17000系/近畿日本鉄道20000系団体専用車「楽」リ
ニューアル車ほか 88~91

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) ……92

JR九州 豊肥線全線運転再開ほか ……原 敬一ほか…100

伊豆箱根鉄道駿豆線 ヘッドマーク&ラッピング車 2020

……諸野脇晴宏…101

各地の話題から ……白川 淳…102

関東の話題 ……関 周一…103

2020年夏 相模鉄道の話題 ……構成:大里信之…104

長崎の話題—2020 夏 ……宮川 浩一…105

連載・昭和の鉄景(第47回) ……椎橋 俊之…106

■本 文

今月の話題:東武鉄道野田線(東武アーバンパークライン) ……編 集 部… 9

東武鉄道野田線の歴史過程 ……澤内 一見… 10

東武アーバンパークラインの輸送と運転 ……武井 博之… 49

東武野田線(東武アーバンパークライン)複線化の経過 ……佐藤 淳… 59

東武野田線 回想記 ……花上 嘉成… 63

*

鉄道の話 ……編 集 部… 48

新系列車両置き換え後の中央・総武緩行線【後編】 ……日向 旭… 76

書評(668)『名古屋鉄道車両史』上・下巻 ……三木 理史…107

東京地下鉄17000系 ……志村 昂亮…108

箱根登山鉄道 運転再開までの285日間 一台風19号被害における

車両を中心とした動向について ……高山貴士・三瓶嶺良…116

元JR東日本キハ40系新津車ミャンマー国鉄で順次竣工

……齋藤 幹雄…121

8月のメモ帳 ……124

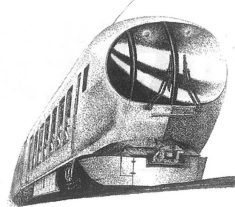
読者短信・情報ファイル ……125

後部車から ……128

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

東武鉄道野田線 (東武アーバンパークライン)

東武鉄道の路線は浅草・押上を起点とした本線系統と、池袋が起点となる東上線系統により形成されている。このうち、本線系統は都心をターミナルとする東武スカイツリーライン・伊勢崎線と日光線、そして本号で特集を構成した野田線(東武アーバンパークライン)が基幹路線と位置づけられており、首都圏北東部に広域なネットワークを展開している。その中で、野田線は大宮から岩槻、春日部、柏、船橋を、都心から30~40km圏の外周を環状により結ぶ62.7kmの比較的長大な路線で、他の大手民鉄路線ではあまり例のない独特な線形となっている。輸送形態は通勤・通学輸送が主体で、春日部で東武スカイツリーラインと接続するなど主要駅において都心から伸びる通勤鉄道と交差し、そのフィーダー的な傾向を有しているが、都心と埼玉・千葉県にわたる沿線を結ぶ重要な役割を担っている。

歴史的には1911(明治44)年に開業した柏—野田間が最初で、以後千葉県営鉄道から北総鉄道、総武鉄道と変遷し、1944年に合併され東武鉄道の路線となった。往時は非電化区間も残る単線のローカル路線で、1950年代後半から複線化が進められたが、車両は旧形車が主流で、通勤輸送を担う郊外鉄道とはほど遠いイメージが続いた。しかし、その後は複線化も順次進み、輸送力の増強が図られ、徐々に通勤鉄道としての面目を新たにしつつ、近年では東武鉄道をはじめとした強力な沿線の整備が行われ、飛躍的な様変わりを見せている。2013(平成25)年には野田線用の新形式60000系がデビュー、2014年には線名に「東武アーバンパークライン」の愛称を設け、2016年には急行運転を開始、2017年には500系による浅草から直通の特急運転を開始するなど、鉄道趣味の視点においても話題には事欠かない魅力的な路線へと成長を続けている。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan